



二輪草だより

平成27年12月号
発行:二輪草センター


センターの活動予定 年末年始のお休み期間は12月29日～1月3日です

- ◆1月6日(水)～8日(金) 冬休みキッズスクール開催
- ◆1月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより1月号発行

「医学生・研修医・女性医師の集い」終了報告


二輪草センター助教 菅野 恭子

平成27年11月16日に医学生・研修生・女性医師の集いが開催されました。今年度も昨年と同様「研修医生活ってどんなもの？」と題し研修医、その後の女性医師としてのライフスタイルを考えてもらうテーマで立場の異なる5人の先生方にお話しして頂きました。

 まずはじめは、旭川厚生病院初期研修医の林なつき先生から子育てと仕事の両立についてお話しいただきました。御両親の助けをかりながら夫婦で協力し子育てと両立している様子について語って頂きました。色々悩みがあってもやるだけやってみて続けることが支えてくれている人たちへの恩返しになるのではというコメントが印象的でした。


次にお話し頂きました旭川医科大学後期研修医の高取清香先生は今年の5月に出産され現在育児休暇中ですが、色々考えた末に旭川医大に研修先や医局を決めたことについてお話して下さりました。来年の2月には復帰されるご予定とのことでした。



 3番目の北星ファミリークリニック後期研修医の三島千明先生は島根大学の御出身で、総合医を目指して北海道に来た経緯や世界を視野にキャリアを築いているお話がありました。

4番目は旭川赤十字病院消化器内科の林秀美先生で、消化器内科を選んだ理由から自身の研修時代の話や現在の働き方についての具体的なお話がありました。



 5番目は旭川リハビリテーション病院内科の長谷部智美先生で、ご主人の留学について行く事への不安や迷いについて、子供ができる前とできてからの働き方の違いについてのお話がありました。

今回は医師27名、学生が53名と非常に多くの学生さんに参加して頂きました。アンケート結果では9割以上の参加者に満足して頂いた内容だった様で、具体的な将来像がみえた、将来の悩みや不安が少し解消されたなど多くの意見が寄せられました。早い時期にロールモデルの体験談を聞くことは今後の自分自身の働き方や生き方の参考になると思いますので、今後もより多くの学生に参加して頂ければと思います。

最後になりましたが、主催頂きました旭川市医師会および北海道医師会にこの場を借りてお礼を申し上げます。またお忙しい中ご講演頂きました先生方にも深謝致します。



平成27年度「看護学生と看護師の語るタベ」終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 菊地 美登里



11月25日(水)17時45分より第5回「語るタベ」を開催しました。参加者は、学生3名を含め25名で、今年度のテーマは「チャンスをつかもう!! あなたの夢は ほらそこに」としました。仕事や子育てに追われる日々ですが、時には立ち止まってみると夢をつかむ

チャンスが直ぐそばにあるとのメッセージを込めました。今年度も3人の講師にお話し頂きました。最初に、認知症看護認定看護師である内山寛美看護師に、認定看護師を目指したきっかけや学んだことなどお話し頂きました。仕事との向き合い方に迷いがあった時期に、上司から勧められたこと、学業に専念できる恵まれた環境があったことが目指すきっかけとなったと話されました。認知症患者は、いつもどこか不安げな表情をしていることが多いが、患者と接していると不安げで緊張した表情が笑顔や安堵の表情に変わることがあり、その瞬間が看護の魅力を感じる時で、働き続けてよかったと思えると話してくれました。

次に、がん放射線療法看護認定看護師の野中雅人副看護師長に、講義をしていただきました。看護師歴の紹介では、その時々で興味関心が広がりチャレンジしてきたことが話され、常に向上心を持って学び続けたいという姿勢が伝わってきました。認定看護師としての学びや実践、研究に取り組んだことが充実感と自信につながったこと他に負けないものを一つ持つことが大事と話されました。

最後に、6階西病棟中村智美看護師長からは、看護師をめざした時、大学間人事交流で北海道にきたこと、出産子育て、師長昇任など、20年前に遡り5つの節目について話されました。看護師のシンボルのナースキャップが廃止になった時、看護の専門性は何か深く考えたこと、看護師・母親・一人の自分のそれぞれの役割が今はごく自然に重なってきていること、困難な時ほどファイトが沸いてくると力強いお話がありました。3人の講師はそれぞれ自分らしくチャンスをとらえキャリアを重ね、上手にlifeとのバランスを取っていると感じました。チャンスは自分から掴もうとする時と他から与えられる場合がありますが、どちらも「今がチャンス！」と思うことから始まりです。終了後、講師の方から、自分を振り返るよい機会になったとの言葉が聞かれました。参加者にとっても講師にとっても、立ち止まって自分自身を振り返る機会になるように内容を充実させていきたいと思ひます。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談

【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	16回	稼働回数	16回
病児・病後児保育室	依頼回数	9回	利用回数	9回
カウンセリング相談			利用回数	4回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

